

参議院議員通常選挙に向けた選挙事務改善について

仙台市選挙管理委員会では、仙台市選挙事務不適正処理再発防止委員会による「不適正な開票事務に係る再発防止のための提言」（平成 27 年 4 月 24 日）を踏まえ、平成 27 年 5 月 11 日に具体的な事務改善の取組内容を定めて以降、各区選挙管理委員会とともに、投・開票事務全般にわたり種々の事務改善を行ってきました。

平成 28 年 7 月 10 日執行の参議院議員通常選挙に向けては、以下の項目を始めとした事務改善を進め、選挙の信頼回復に取り組んでいます。

1 事務マニュアルの改善・充実

平成 27 年 10 月 25 日執行の宮城県議会議員一般選挙において発生した確定投票者数の集計誤りへの対応として、使用残投票用紙の枚数確認を確実にできるよう計算書の様式を改善します。

また、事務マニュアル上、場面ごとに必要とされるチェック方法を明示して、確実かつ効率的なチェックを可能とするとともに、選挙用語のわかりやすい解説を盛り込むなど、初めて従事する者も理解しやすいものにします。

2 事務従事職員の増員

近年、アルバイトで対応することを基本としてきた事務において、職員の従事割合を引き上げ、責任体制の強化を図ります。

- ・ 投票事務（投票管理者を除く） 前回参院選 46% ⇒ 今回参院選 84%
- ・ 開票事務（区選管職員を除く） 前回参院選 43% ⇒ 今回参院選 70%

3 事務従事者への研修充実

職員の選挙事務従事に対する意識向上と正確な事務執行のため、これまでの選挙事務において発生したミス事例を活用しながら各種研修を実施し、事務従事者の育成を進めます。

- ・ 投票事務実地研修（平成 27 年宮城県議会議員一般選挙時から継続）
すべての投票所において、アルバイトを含めて、投票事務の一連の流れを模擬体験させ、正確な事務内容を徹底
- ・ 新規採用職員研修（平成 27 年度研修から拡充）
選挙の概要や事務の仕組み、職員が事務従事する意義等について説明するとともに、投票事務実地研修の内容も盛り込む
- ・ 新任課長職研修（新規）
管理職員に委嘱される投票管理者の職務や心構え等について研修
- ・ 職員意識向上研修（新規）
投票事務の名簿対照係と投票用紙交付係に従事予定の職員を対象として、ミス事例をもとに事務に臨む心構え等について研修